



たかぎ

議会だより



No.96 令和4年1月

P2 年頭のあいさつ

議案審議内容

P3 予算決算常任委員会

P4・5 第一小6年生との懇談会

P5 社会文教常任委員会

P6 一般質問

P7 議会活動報告

P8 この村でがんばってます

～ 成人おめでとう ～





年頭のごあいさつ

議長 後藤章人

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月の村議会議員選において、当村始まって以来初めて、定員不足という事態に陥りました。私も取り組んできた、議員のなり手不足解消の為の議会改革とは、と深く考えさせられ、このような事実が重く心の内に残った半年でした。

また、コロナウイルスに至っては、前年に続き、全国的にその感染は衰えることなく、当地方では9月以降、一旦は勢いに陰りが見えたものの、年末にはオミクロン株という新型の変異株の出現により、流行への不安が続きました。結果、昨年でもコロナウイルスに振り回された1年という思いです。

一方、統合保育園の工事が始まり、富田バイパスの工事も順調に進捗し、リニアの橋脚工事も始まり、そして三遠南信自動車道第11号トンネル貫通など将来に向け明るい話題も少なくはありません。

本年こそはコロナもおさまり、災害も無く、村民の皆様の安心安全な生活が守られることを祈って議会運営に邁進いたします。どうか皆様には議会・村政に大きな関心を寄せていただきますようお願いし、議員も各自のスキルアップに努めていく所存です。

結びに皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

議案審議内容

令和3年第4回定例会は、12月3日に開会し、報告議案、契約議案、条例議案、補正予算議案全9議案を審議のうえ全会一致にて可と決した。又、陳情1件、発議1件の審議を行い12月15日に閉会した。

尚、補正予算4議案については予算決算常任委員会に、陳情1件については社会文教常任委員会に付託した。

報告第13号 (専決第8号) 損害賠償の額を定め、和解することについて

要旨 9月11日、喬木中央保育園園舎周辺草刈り作業中に発生した事故による損害を賠償し、和解する。

報告第14号 (専決第9号) 喬木村一般会計補正予算 (第3号)

要旨 新型コロナウイルス感染症関連予算として、村内事業者支援する為の商品券発行経費の計上と統合保育所経費について債務負担行為の期間を令和3年度から4年度とし、限度額を1億円に定めた。

議案第62号 工事請負契約の締結について

要旨 令和3年度喬木村統合保育園建設工事に係る請負契約。契約金額7億5千9百万円。

議案第63号 工事請負契約の変更について

要旨 堰下ガイドウェイヤード造成工事変更契約の締結。事業の進捗を図るための舗装面積の増。

議案第64号 喬木村国民健康保険条例一部改正

要旨 健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の変更。1月1日から40万4千円→40万8千円に増額。

議案第65号 令和3年度喬木村一般会計補正予算 (第4号)

要旨 主なものとして村民バス購入経費、リニア関連事業受託工事内容変更、統合保育園建設関係経費の債務負担行為の調整による今年度減額、燃料等購入券発行経費。

議案第66号 令和3年度喬木村国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)

要旨 本算定に基づく保険税及び一般被保険者療養費の計上。

議案第67号 令和3年度喬木村介護保険特別会計補正予算 (第3号)

要旨 居宅介護住宅改修費の計上。

議案第68号 令和3年度喬木村下水道事業会計補正予算 (第3号)

要旨 中原地区布設工事の計上及び関連する起債の限度額変更。

陳情第3号 沖縄県南部遺骨混入土砂採取反対陳情書

陳情事項 1.土砂採取計画を中止すること。
2.戦没者遺骨収集推進法の積極的な施行をすること。

発議第3号 埋め立てに使用しないことを求める意見書

1.戦没者の遺骨等が混入した土砂を使用しないこと。
2.日本政府が主体となり遺骨収集の推進を実施すること。

本会議議決結果

陳情第3号：全会一致 採択
発議第3号：全会一致 可決



国に意見書として提出

予算決算常任委員会

委員長 下 平 貢

12月10日9時より委員会を開催し、令和3年度各会計補正予算の審議を行なった。主な補正内容は統合保育園建設や村営バス購入費、燃料券発行などの事業支出によるもの。主な審議の内容は下記の通り。

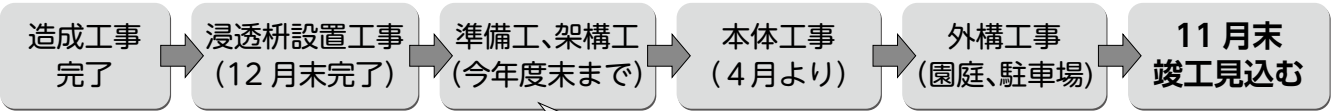
統合保育園建設事業

保育園建設費7億5千9百万円で契約（消費税含む）

建設資材の値上がりや資機材の不足により、園舎本体工事のみを先行して契約した。

全体では当初計画より1億円余増加し総事業費9億5千万円を見込む

今後のスケジュール



建設に伴う本年の減額補正や次年度での予算計上に向けた会計手続きについて承認した

中原管渠布設工事（下水道）

建設費1千百万円を計上

統合保育園建設に伴う建設予定地西側付近の布設工事によるもの

喬木村燃料等購入券発行事業

事業費2千3百85万円を計上

全世帯に対し、1世帯1万円のクーポン券の支給

燃料購入券は、燃料費高騰を受け、経済対策の一環として行い、家計支援と合わせて村内事業者支援を目的とする

ふるさと納税関係経費

寄付金額が昨年並みに見込まれることから当初予算に加え、返礼品4千3百万円を計上

Q 今後件数の確保はどうか。

A 返礼相当額30%未満の国の方針を当村は守っているため減少はあるが、来年以降自治体の足並みが揃ってくれば改善は見込まれる。

村単道路改良事業

事業費2千万円を計上

村道511号線拡幅改良工事(学遊館東側進入路)

子育て世帯臨時特別給付金

事業費5千百万円を計上

子ども一人あたり5万円給付の予算として事業を計画し承認。議会として残りの5万円も現金給付を要望。その後、国の方針が明らかになったことを受け、村は10万円一括給付を選択。予備費を充当し年内給付に至った

村営バス運営経費

購入費2千9百万円を計上

老朽化した車両の安全性を鑑み、次年度実施計画を前倒しする

「買って応援！
たかぎ元気アップ商品券」
事業について

Q 11月に発行した第6弾プレミアム付商品券について、購入出来なかった住民からは、疑義の声が続いている。趣旨の説明が今一度必要ではないか。

A パンフレットにも標記しているが、村内事業者の支援を目的に行った事業で、村内に従事されている村外の方々が喬木村に協力をしたいといった気持ちにも応える事も目的とした。先着順や限定を設けたことが住民への混乱を招いたことは残念。頂いている声は真摯に受け止め今後の施策に活かしていく。

喬木第一小学校6年2組の子どもたちから提案

～総合的な学習「テーマ：街づくり」の一環として、議員への活発なプレゼンが行なわれた～

喬木村の交流について

～地域だけじゃなく村内の交流を増やして関わりを増やそう～

【提案】

どんど焼き、お楽しみ会、ラジオ体操と地区の交流はできているが、村内の交流ができていない。



地域だけじゃなく村内の交流も増やして関わりを増やそう！

- ① ボランティア活動
 - ・ 通学路・公園・村内のゴミ拾い
 - ・ 草取り・落ち葉集め
- ② 沢山のひとと運動して交流する
 - ・ 地区でチームの運動会
 - ・ 喬木村を走る
 - ・ 色々なスポーツをして体を動かす
- ③ 年齢関係なくたくさんのひとと交流
 - ・ みんなで一緒にできること
 - ・ 苺狩り・水引体験・曙月庵・喬木村探検
 - ・ 村の特産品を使った料理作り

【議員さんにききたいこと】

- ・ 村として実際に交流についてどう考えているのか。どのようにしていこうと考えているのか。
- ・ 実際、村内ではどのような活動をしているのか。

特産品を宣伝し、よりよい喬木村へ

～知名度を上げ、喬木村の特産品に魅力を感じて貰う～

【提案】

苺の加工品はあるが、それ以外の特産品を使った加工品を見かけない。特産品を使った食品を売っている場所が少ない。



特産品を広めていく必要がある。→加工した特産品を売り、特産品から喬木村を知って貰う。困っている農家さんを助ける。

- ・ 特産品を使ったおやつ、調味料などを店に出す
- ・ 村外の市町村にも特産品を加工したものを売る
- ・ 村のホームページ・PR動画・ラジオCM・チラシで宣伝
- ・ 無人販売・コンビニ・Acoop・直売所で売り出す
- ・ 地産地消＝村外の給食に取り入れて貰う
- ・ 苺だけでなく、リンゴやブルーベリーも使う
- ・ 特産品加工→村の知名度が上がる
- ・ 傷んだ苺やリンゴなどを加工→食品ロスを減らす
- 農家さんを助ける

【議員さんにききたいこと】

- ・ コロナや災害などで困っている農家さんはどのくらいいるのか。
- ・ 傷んだ果物などは捨てているのか。
- ・ 苺以外の特産品を使った加工品を作っているのか。

喬木村の良さや魅力を活かせるような観光地が必要

【提案】

リニア中央新幹線、三遠南信自動車道を利用する人をターゲットにする。使われていない土地や空き家で魅力的な観光地を作る。もっとSNSの良さを活かしてPRする。

- ① 三遠南信自動車道の近くに観光地やお店を作る（作れる土地を確保する）
 - ・ 道の駅・飲食店
- ② いらない土地・空き家を観光地にする
 - ・ 村の豊かな自然をいかせるような観光地
- ③ PR活動投稿頻度を増やし有効活用する。
 - ・ テレビCM・SNS・新聞や雑誌の利用・村のホームページに動画、観光地紹介

【議員さんにききたいこと】

- ・ 村の魅力をアピールするためにSNSを活用する他にどんなPR活動をしているのか。
- ・ リニア中央新幹線、三遠南信自動車道を今後どのように村のために活用していくのか。
- ・ 今増えている空き地・空き家などに対しては、今後どのように対応していくのか。



懇談会の様子

喬木村の土地の活用方法

～面積の広い土地を生かし新しいお店を作れそう～

【提案】

空いている家や土地をうまく使えていないのでは？



- ①お店が少ない。
→空いた土地にお店を作ることで便利な村になる
- ②働く場所が少ない。
→空いている土地に様々な企業を呼び込む

◆欲しい店アンケート結果

	こども	大人
1位	飲食店（カフェなど）	ドラッグストア、スーパー
2位	洋服屋	洋服屋、家電量販店
3位	スーパー	飲食店（カフェなど）
4位	ドラッグストア、美容院系	ホームセンター
5位	家電量販店	ショッピングモール
	駄菓子屋、大型ショッピングモール	温泉施設、遊べる施設など

【議員さんにききたいこと】

- ・空いている土地はどうするつもりか。
- ・現在どのくらい空いている土地はあるのか。
- ・その土地の面積はどれくらいか。



- ・いずれの班も細かく調べており、アンケートを取ったり、それをまとめて発表をしてもらい、村のことを真剣に考えていることがわかる内容だった。
- ・修学旅行で、国会議事堂へ行けなくなったことから、9月の定例会を見学していただき、続いて懇談会を計画していただけたことは、良い試みでした。今後も是非続けていけたら良いと思う。
- ・学習テーマに対してやらされている感がなく、一生懸命考えて提案をいただいた。
- ・「議員に聞きたいこと」に答えながら、一緒に村の将来について話し合う貴重な機会となった。今後も子どもたちの想いに応えられるような施策探求に努めたい。

社会文教常任委員会

委員長 小川原 美智穂

令和3年度喬木村議会第4回定例会において、当委員会へ付託された陳情第3号につき、12月10日審査を行った。審議内容は下記の通り。

陳情第3号 沖縄県南部の遺骨混入の土砂採取反対の陳情書

【趣旨】 沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと。戦没者の遺骨収集の推進に関する法律により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。を求める意見書を国および政府に提出して欲しい。
陳情者：沖縄県南部の遺骨混入土砂採取に反対する会

賛成討論（主な意見）

- ・沖縄が本土に復帰して、来年で50年。半世紀経つが遺骨収集が進んでいない。5年前に遺骨収集の推進法が成立した。ただ、法律はできたが現実的には進んでいない。心情的なものも踏まえ、多くの犠牲になられた皆さまに報いるためにも意見書として出すことは賛成である。
- ・戦没者の遺骨が入っている土を埋め立てに使うと言うことは、島民感情・沖縄の親族の心中を察するものがある。計画を中止するというよりは、土砂を埋め立てに使用しないと言うことで、この陳情事項の1.2に付いて賛成である。
- ・ボランティアが、40数年にわたり遺骨収集を行っているが、未だ進んでいない。平和の礎には、長野県の亡くなった方1,376名の名前も刻銘されている。沖縄県だけの問題ではなく、私たちにも関わる問題である。亡くなった方、遺族の方を冒すような戦没者の遺骨が混入した土砂を埋め立てに使うようなことは、人道上考えられない。この陳情事項2つについて、議会として上げて行くことに賛成である。

採択結果 : 採択について 賛成 4名 : 反対 0名

- ・陳情書の趣旨を生かし、要約を行い、意見書を提出することと決した。



英語嫌いの児童生徒に
どのように対応していくのか

後藤 澄 壽 議員



Q 喬木村には、英語嫌いの児童生徒はどのくらいいるか。またそうした児童生徒にどのように対応していくのか。

A 小学校においては、村費の英語支援教員を配置し、絵本の読み聞かせ、ゲーム、工作などを取り入れて英語を楽しく学ぶ工夫をしている。中学校においては、英語検定の合格者を増やして自信をつけさせ、ALTとともに、音楽、ゲームを取り入れた楽しい授業を行い、小中連携を考えて教育をすすめたい。

■不登校の児童生徒を、どのように支援していくのか



村営単独住宅を「賃貸から暫定期限後の譲渡」はできないか

櫻井 登 議員



Q 郡内の事例を参考に、入居者のプランによる村営住宅を「定期間賃貸し、その後譲渡する」建設の検討はできないか。

A 公共施策としては、公費を使うことのリスクや影響を考える必要がある。破産、転出、死亡など入居者の事情が変わるリスクが伴うことなど不確定要素が否定できないこと。また、初めから個人の資産形成を行うことは、公共施策には適切ではないと考えている。平等性の原則からも適切ではないと考えている。

■空き家の土地・建物を村が取得可能の場合、村営住宅建設の検討は



運動公園周辺の
整備について

木下 温 司 議員



Q バasketコート の利活用について、見守りと人の交流ができる施設が必要と考えるが。

A 村としては、地域の安全面の確保、人々の交流の場や憩いの場、地域の特産品の販売などが、総合的に提供できる施設の整備が可能かどうかを現在検討している。昨年、中学3年生の総合的な学習の中で、運動公園を多くの人々が利用しやすい公園とするために、遊具の増加とカフェの設置の提案も頂いている。

■通学路の合同点検に見る今後の対策について、村内の状況を問う。



今後の観光事業の
展望について

下平 貢 議員



Q 今後の村づくり、こういった姿を目指していくのか。

A 喬木村に多くの付加価値を加えていくためには、住民の意思統一がなければ何も成し得ない。堰下開発も含め小さな拠点作りなど、新たな街作りの様々な実現の可能性は多様に広がっている。この村でこれにかけるという構想を、社会情勢を見極めながら、住民と共に作り上げていかなければならない。

■NPO法人たかぎの組織強化について



要配慮者の
避難支援について

小川原 美智穂 議員



Q 国で定められている要配慮者の人数を、当村としてどのくらいの数とみているのか。

A 具体的な人数は、把握はしていないが、村では要配慮者のための備蓄品の整備や避難所運営等、配慮した対策を進めている。

避難行動要支援者について、名簿を作成して把握をしている。その人数は、令和3年10月1日現在399人となっている。

■要配慮者の受入体制

■避難行動要支援者の個別避難計画



安心・快適に住み続けられる
村づくりについて

福澤 一成 議員



Q 住民にとって安全な道路、水路、公園等小さな拠点づくりを中心とした魅力ある計画的環境整備について。

A 生活し続けられる地域づくり「小さな拠点」として、平成25年より交流センター周辺を生活サービス拡充、公共交通の結節点として整備を進め、福祉・スポーツの拠点整備や文化・教育拠点整備も進み中で、今後開発可能な場所を公園整備等も考慮して、地域住民と検討の場を設け、計画策定を進めたい。

■村政懇談会 ■高齢者移動支援 ■担い手不足

議会活動報告

北部ブロック要望活動

11月25日に県に対して下記の2項目について提言書を提出した。

【総務・産業・建設関係】

県道上飯田線「阿島橋」架け替えの早期事業化を求めることについて

1. 県道上飯田線阿島橋架け替えについて、早期事業化すること

【教育・社会関係】

無医村化解消の県による制度設計の構築について

1. 開業補助制度の構築に努めること
2. 廃業による無医村化を防ぐため、医業継承について支援すること



県議会11月定例会において採択された。

NPOたかぎ事業・決算報告

11月11日、NPOたかぎの田中理事長から、令和3年度の総会資料により、16の活性化団体の活動報告を含む事業報告、令和2年度の決算報告の説明があり、状況の確認をした。

飯田広域シルバー人材センターとの懇談会

11月11日、飯田広域シルバー人材センターの山田理事長、竹内専務理事、木下喬木支部長が来庁され、令和3年度の事業活動・運営状況などの説明があり、それぞれ確認し、意見交換をおこなった。

お知らせ

～ 議員と語ろう会について ～

2月5日6日 議員と語ろう会を計画、準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルスの急速な感染の拡大の状況を鑑み、中止することといたしました。

議会現地視察

県道大島阿島線



10月7日、県道大島阿島線三枚添地籍の崩落個所の復旧状況について、現地にて飯田建設事務所より説明を受けた。大島地区の皆様にはご不便をお掛けしていますが、工事も予定より早く進捗していることを確認した。引続き一日も早い開通を願い、議会からも要望を伝えた。

九十九公園残土処分場



三遠南信自動車道の工事に伴い、現在掘削による発生土の搬入が行われている。昨年7月に静岡県熱海市で発生した土石流災害を受け、処分場の計画が変更され、法面勾配の緩和、また排水系統・地下排水溝の追加、大型かご枠の設置など変更点や安全対策について、高速交通対策課より現地にて説明を受け確認した。

三遠南信自動車道11号トンネル貫通式



12月15日、三遠南信自動車道の11号トンネル貫通式が行われた。11号トンネルは矢筈IC側から掘削が始められ、無事貫通された。村内区間は11のトンネルと9つの橋が建設される。いよいよ本格着工となるが、今後も安全第一で工事が進められるよう注視していく。



南信州オリーブ

中野 克也

オリーブ栽培を3年前に始めました。露地植えと鉢植えで栽培しています。元々、暖かい地域の樹木ですが、何とかほとんど枯れずに根付いて、ゆっくりと育てています。

露地植えは、今年ほんの少し実が成りましたので、自家製のオリーブピクルスを作ってみました。洗みをとるのに重曹に2ヵ月ほど漬けました。来シーズンは商品用のピクルスができればいいなと思っています。

鉢植えは観賞用として販売させていただいております。厳冬期には陽の当たる玄関や内縁に取り込めば、寒冷地でも十分に耐寒できるようです。

オリーブは、なんだかお洒落で人を和ます木、と感じています。鉢植えオリーブを対面販売していると、お客様が知らず知らずに笑顔になっている、私どもにも嬉しいそんなときがよくあります。

喬木に来て5年目です。オリーブの木のように、ゆっくりと地域にとけこみ、笑顔のある毎日を送っていければいいなと思っています。



大きく育ったオリーブ



議会日誌

10月

- 19日 議員全員協議会
- 29日 飯伊市町村議会議員研修会

11月

- 11日 全員協議会・議員全員協議会
第一小学校6年生との懇談会

12月

- 3日 全員協議会・議員全員協議会
令和3年第4回定例会本会議(開会)
- 10日 総務産業建設委員会
社会文教常任委員会
予算決算常任委員会
- 12日 一般質問
- 15日 令和3年第4回定例会本会議(閉会)
全員協議会・議員全員協議会

今後の予定

令和4年1月

- 18日(火) 村議会議員再選挙告示
- 23日(日) 村議会議員再選挙投票
- 25日(火) 飯伊市町村議会議員研修会

2月

- 9日(水) 全員協議会・議員全員協議会
臨時議会

3月

- 2日(水) 全員協議会・議員全員協議会
令和4年第1回定例会(開会)(案)
- 10日(木) 常任委員会(案)
- 12日(土) 本会議(一般質問)(案)
- 15日(火) 予算決算常任委員会(案)
- 22日(火) 本会議(閉会)(案)
議員全員協議会

表紙写真の説明

待ちに待った成人式
コロナ禍により一年ぶり、二年ぶり同日開催



新しい年を迎え、1月18日は村長選挙および村議会議員再選挙の告示日です。村議会議員欠員2名がどうなるかと思っていた方もいらっしゃると思います。公職選挙法第113号「当該選挙区において、同一の地方公共団体の他の選挙が行われるとき、その選挙と同時に再選挙を行う。」の規定に基づき再選挙が行われます。新しい仲間とともに喬木村の未来について考えて行きたい。

(小川原美智穂)

編集委員会

- 委員長 福澤眞理子
- 副委員長 福澤一成
- 委員 下平 貢
- 委員 佐藤 文彦
- 委員 小川原美智穂